

# ALSI Windows 7 に対応したセキュリティ USB メモリ作成ソフト 「InterSafe SecureDevice v1.0 SP1」を2月24日より発売開始 ～導入180社を突破、教育・医療・製造業の持ち出し USB メモリ対策としても有効～

アルプス システム インテグレーション株式会社(本社:東京都大田区、代表取締役社長:麻地 徳男、以下 ALSI[アルシー])は、Microsoft Windows 7に対応したセキュリティ USB メモリ作成ソフト「InterSafe SecureDevice(インターセーフ セキュアデバイス)」の新版を、2010年2月24日より発売開始することを発表いたします。

## ■ 製品概要

製品名	セキュリティ USB メモリ作成ソフト「InterSafe SecureDevice v1.0 SP1」
販売開始時期	2010年2月24日
ターゲット	企業、学校、官公庁、自治体 など
販売価格 (税別)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●一般ライセンス : 基本パック(管理ソフト+5ライセンス) 38,000円～</li> <li>●アカデミックライセンス : 基本パック(管理ソフト+5ライセンス) 30,000円～</li> </ul>
追加機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>① <u>Microsoft Windows 7 に対応</u></li> <li>② <u>管理画面のユーザビリティを向上</u></li> <li>③ <u>管理者権限の詳細設定</u> ⇒ 複数管理者設定を強化し、上位管理者とグループ管理者の管理機能を分類。</li> <li>④ <u>ログ取得方式を選択性に変更</u> ⇒ 常に最新のログを蓄積できる取得方式を、用途に応じて選択することが可能。</li> <li>⑤ <u>UAC(User Account Control)対応</u> ⇒ ドライバソフト不要により、製品導入負荷の軽減、ユーザ側の誤操作を防止。</li> <li>⑥ <u>「DocumentSecurity WorkFlow」との連携に対応</u> ⇒ 外部デバイス書き出し対象メディアに「InterSafe SecureDevice」を指定可能。</li> </ul>

## ■ 発売開始以降の最新動向

USB メモリの大容量化が進み、手軽で安価に大量のデータを移動できるようになりましたが、便利に利用できる一方で、重要情報や機密情報が簡単に外部に流出してしまう危険性も高まっています。USB メモリの紛失や盗難による個人情報などの情報漏洩事故のほか、不用意に外部のパソコンに接続することによるウイルス感染、Autorun ウィルスによる感染拡大、ファイル交換ソフトを経由した不特定多数への情報流出など、USB メモリを利用することによるリスクが増大していることも事実です。しかし、このようなリスクを回避するために、規定やルールの制定、外部デバイス制御製品等により USB メモリの利用を禁止しても、運用の徹底を図ることは難しく、さらには本来の利便性を欠いてしまうため、十分な対策であるとはいえません。

ALSI の「InterSafe SecureDevice」は、USB メモリを使用したデータの持ち出しを安全に行うために、情報漏洩やウイルス感染を防止することができるソフトウェア製品です。汎用 USB メモリの暗号化や、PC へのアクセス権限を設定・変更することを、業界で初めて実現いたしました。新たに USB メモリを購入する必要がないため、導入コストの削減や、既存 USB メモリの破棄を抑制する等、エコにも配慮した製品となっております。2009年8月24日の発売開始以来、企業や学校、医療機関、自治体など、180社以上への導入が進んでいるほか、本年1月には株式会社アイ・オー・データ機器(本社:石川県金沢市)のセキュリティ USB メモリ「EasyDisk コピー制御 V」シリーズにご採用いただくなど、「InterSafe SecureDevice」単体での販売だけでなく汎用 USB メモリへの組み込みのニーズにも対応いたしました。今後も他社製品との連携による販路の拡大も促進してまいります。

導入ユーザのニーズとしては、教育委員会や学校などの教育機関においては、教員が生徒情報や成績データ等を自宅に持ち帰って仕事を行う際、病院などの医療機関においては、医師が学会等で USB メモリに重要なデータを入れて院外へ持ち出す際、製造業などの企業においては、営業が取引先や顧客先情報を社外に持ち出す際に、情報漏洩対策やウイルス感染対策をすることができる点を評価いただき、実際にご活用いただいております。

## ■ 製品の特長

- ① 登録された PC 以外では USB メモリ内でのみ閲覧・編集が可能
- ② パスワード認証と暗号化による強固なデータ保護
- ③ ウイルス感染や Autorun ウイルスによる感染拡大を防止
- ④ 汎用 USB メモリが利用可能(導入コスト低減+エコ)
- ⑤ 登録された PC 以外でのネットワーク&印刷を禁止
- ⑥ 持ち出し時の利用履歴をログで確認が可能

## ■ ハードウェアタイプでは実現できない、ソフトウェアならではのメリット

・用途に応じて、セキュリティレベルを設定することが可能です。初期設定に含まれている3つの対策パターン(パスワードモード、情報漏洩対策モード、ウイルス対策モード)を選択してそのまま利用することができるほか、3つの対策モードを活用してオリジナル対策モードを設定をすることもできます。

### パスワードモード

#### ■盗難・紛失対策

盗難、紛失時にもパスワードによる認証でデータを保護します。



ゲストPC



暗号化USBメモリ



パスワード認証のみ

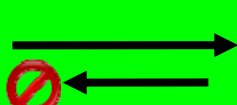
### 情報漏洩対策モード

#### ■情報漏洩対策

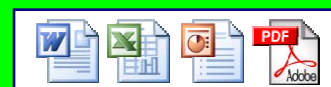
自宅等に持ち帰った場合にも、自宅PCへデータが保存できないため情報漏洩を防ぐことが可能です。



ゲストPC



暗号化USBメモリ



USBメモリ内では作業可能

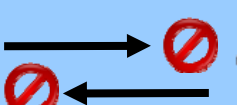
### ウイルス対策モード

#### ■情報漏洩対策+ウイルス対策

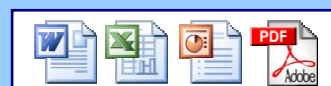
自宅等に持ち帰った場合にも、自宅PCへデータが保存できないため、情報漏洩を防ぎ、USBメモリへのデータ保存不可のためウイルスの侵入を防止します。



ゲストPC



暗号化USBメモリ



USBメモリ内では作業可能

## ■ 機能一覧

- ・基本機能: パスワード設定/USBメモリの有効期限設定/管理コンソールによる集中管理
- ・アクセス制御機能: USBメモリから登録外PCへのコピー/移動防止/登録外PCからUSBメモリへのコピー/移動防止/コピー&ペーストの防止/ネットワーク制御/印刷制御/プリントスクリーン制御/ウイルス対策/ウイルスの侵入防止
- ・管理者機能: パスワード復旧機能(別パスワードの付与)/パスワードの遠隔復旧機能(遠隔地でもパスワード失念時に復旧)/複数管理者設定/暗号化USBメモリを通常USBメモリへフォーマット/ログ取得
- ・その他: 暗号化方式選択(AES128/256bit)/汎用USBの利用

※掲載されている会社名及び商品名は各社の商標または登録商標です。\*ウイルス感染防機能については、全てのウイルスの感染防止を保証するものではありません。

### 【このリリースに関するお問い合わせ・取材受付先】

アルプス システム インテグレーション株式会社  
〒145-0067 東京都大田区雪谷大塚町 1-7  
広報担当: 桑野 宏子 (kuwano@alsi.co.jp)

URL: <http://www.alsi.co.jp/>  
TEL: (03)5499-8043 FAX: (03)3726-7050